

越境 EC 事業を展開するインアゴーラ

高知県庁と連携し、高知の地酒「土佐酒」を中国に展開

～ 高知県酒蔵組合の酒蔵をプロモーションし、販売システムの構築と認知拡大をサポート ～

「ショッピングに国境はない」をスローガンに、中国消費者向け日本商品特化型越境 EC プラットフォーム「豌豆（ワンドウ）プラットフォーム」を運営するインアゴーラ株式会社（代表取締役 CEO：翁 永飏 所在地：東京都港区 以下「インアゴーラ」）は、2020年10月6日（火）より、「豌豆公主（ワンドウ）酒水旗艦店」※において、高知県庁や高知県酒造組合と連携して高知県の日本酒を特集した「高知県十八大酒蔵」をオープンします。



高知県の日本酒を特集した「高知県十八大酒蔵」 ページイメージ

日本屈指の清流をもつ高知県は、日本酒の味にも繋がる「水の県」、そして、日本有数の酒どころとして知られており、県内全 18 蔵ある酒蔵で古くから地酒が作られています。高知県で作られる日本酒は「土佐酒」と呼ばれ、全体としての酒質タイプは「綺麗な酸があり、雑味は少なく、キレのいい辛口」が特徴で、何杯でも飽きずに飲み続けられる酒として日本酒好きを魅了しています。高知県では、県をあげてオリジナルの米や酵母を開発するなど、県内の酒造家を積極的に応援しています。

インアゴーラは今回、2018年7月より出店取次パートナー契約を締結している株式会社ほっとこうち（代表取締役：小野川 義人 所在地：高知県高知市）と連携し、高知県内の全 18 蔵の酒蔵の中国国内への進出をサポートいたします。

2020年5月にリニューアルオープンし、中国のお客様からすでにご好評をいただいている「豌豆公主（ワンドウ）酒水旗艦店」において、このたび高知県の日本酒を特集した「高知県十八大酒蔵」を新たに設け、高知県の日本酒の魅力を伝える充実したコンテンツとともに全 18 蔵のうち、まず 6 酒蔵の日本酒を中国のお客様にご紹介いたします。取り扱い商品数は 10月1日（木）のリリース以降順次拡充予定です。

インアゴーラは、今後もより多くの日本商品を中国のお客様に紹介し、日本の商品とライフスタイルを楽しんでいただく場をお届けします。

※：インアゴーラが中国国内大手 EC プラットフォーム内に開設している日本のお酒を専門に取り扱う旗艦店

Inagora

<ご参考>

「高知県十八大酒蔵」以下 QR コードよりご覧いただけます。



<高知県内の酒蔵メーカーと地域、代表銘柄>



- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 濱川商店 (田野町) 美丈夫、慎太郎 | ⑩ 酔鯨酒造 (高知市) 酔鯨 |
| ② 南酒造場 (安田町) 南、玉乃井 | ⑪ 亀泉酒造 (土佐市) 亀泉 |
| ③ 土佐鶴酒造 (安田町) 土佐鶴 | ⑫ 土佐酒造 (土佐町) 桂月 |
| ④ 菊水酒造 (安芸市) 菊水 | ⑬ 高知酒造 (いの町) 瀧嵐 |
| ⑤ 有光酒造場 (安芸市) 安芸虎、赤野 | ⑭ 司牡丹酒造 (佐川町) 司牡丹 |
| ⑥ 仙頭酒造場 (芸西村) 土佐しらぎく | ⑮ 西岡酒造店 (中土佐町) 久礼、純平 |
| ⑦ 高木酒造 (香南市) 豊能梅 | ⑯ 文本酒造 (四万十町) 桃太郎 |
| ⑧ アリサワ (香美市) 文佳人 | ⑰ 無手無冠 (四万十町) 無手無冠 |
| ⑨ 松尾酒造 (香美市) 山田太鼓、松翁 | ⑱ 藤娘酒造 (四万十市) 藤娘 |

Inagora

<「高知県十八大酒蔵」のページリリースに先駆けて、高知県主催で9月に北京で行われたオフラインイベントの様子>

中国で知名度の高いシャングリラホテル北京「西村」、北京国貿ホテル「なだ万」とタイアップし、期間限定高知県産食材を使用した特別メニューの提供やマグロ解体ショー、店内特別展示スペースでの日本酒商品の展示などが行われました。



当日の会場の様子とイベントにご参加いただいたKOL（写真右上）

Inagora

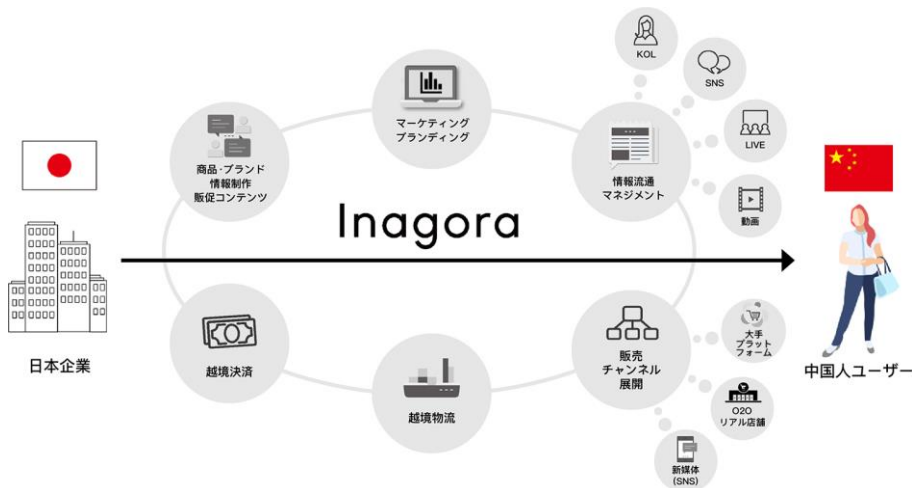
■株式会社 ほっとこうち 概要

本社所在地	: 高知県高知市北川添 10-15
東京事務所所在地	: 東京都千代田区神田鍛冶町 3-3 ニュー神田ビル 203
会社設立	: 1997年3月
代表取締役	: 小野川 義人
事業内容	: 出版物・Web サイト等の企画制作運営、ランチパスポート全国エリア管理運営
URL	: https://hotkochi.co.jp/

■Inagora 株式会社 概要

本社所在地	: 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 16F
会社設立	: 2014年12月15日
代表取締役 CEO	: 翁 永颯
URL	: https://inagora.com

「ショッピングに国境はない」をスローガンに、日本の優れた商品やサービスをインターネットを通じて中国向けに展開する越境 EC 事業、および上記に伴うコンテンツ制作、物流、海外マーケティングなど複合的な付帯事業を行っています。インアゴラは、日本企業が海外進出を検討する際に必ず課題となる「情報の越境」「物流の越境」「決済の越境」のすべてを解決する、ワンストップソリューション型の B to B to C 越境 EC プラットフォーム「豌豆 (ワンドウ) プラットフォーム」を運営しています。商品の翻訳、物流、決済、マーケティング、顧客対応、他チャンネル展開などの全工程を担うことで、日本企業と中国消費者間の文化的ギャップを吸収し、日本企業の中国進出をサポートします。日本の企業はインアゴラの日本国内倉庫に商品を配送するだけで、国内 EC ショップを 1 店舗追加するよりも簡単に、巨大な中国市場に進出することができます。



「豌豆 (ワンドウ) プラットフォーム」イメージ

■越境 EC アプリ「豌豆公主 (ワンドウ) 」概要

インアゴラが自社で開発・運営する越境 EC ショッピングアプリ。中国国内唯一の日本商品に特化した品揃えで、インターネットを通じて中国のお客様に日本の商品やサービスを販売しています。2015年8月のリリース以来流通総額を急速に伸ばしており、取り扱い商品数は中国で既に人気のアイテムから中国ユーザーの認知度が低い商品まで約40,000商品 (2017年11月時点) にのびります。中国消費者に日本商品や企業ブランドの魅力を伝えるため、ブランドストーリーを紹介する動画や、商品紹介ページ・使い方の説明動画、特集記事等を丁寧に制作し、多角的で深いコンテンツを制作・提供できる点が特徴です。



iPhone 版はこちら



Android 版はこちら